

Symposium

Highly Insulated Window

超断熱サッシ シンポジウム

国内の建築物の窓からは多くのエネルギーが失われており、欧米以上の窓の断熱性能技術開発が求められています。

私たちは、地球温暖化対策推進を目的とする環境省事業により断熱性能で世界トップクラスの技術開発をしました。

本シンポジウムでは、日本では周知されていない窓技術について、窓研究と窓製作技術のバイオニアである ift Rosenheim と leitz の研究者による講演と、私たちの技術開発について公開するものです。

日時 2014年10月22日(水) 13:30～16:00(受付開始 12:30)

会場 国立大学法人信州大学工学部内
総合研究棟1階大会議室(長野市若里4-17-1)

参加費 無料

参加人数 事前予約制 200名

対象者 建築士、住宅建築施工者、建築関係事業者、行政、省エネルギー事業関係者、学生等

プログラム

- 1 超断熱サッシ技術開発の事業説明 有限会社和建築設計事務所 代表取締役 青木 和壽
- 2 「窓のエネルギー効率に関する基本事項」 ift Rosenheim GmbH Manuel Demel 氏
 - ・窓の性能特性
 - ・窓の最適な検証方法
 - ・窓の適正な使用方法
 - ・エネルギーラベリング制度(ドイツ)
- 3 「私たちは、未来を形作る」 Leitz GmbH&Co.KG Martin Kenntrner 氏
 - ・窓とドアについて

講演者 通訳あり



マヌエル デメル
Manuel Demel 氏
ift Rosenheim GmbH (ドイツ)
プロダクトマネージャー
テスト科棟物理学副部長



マーティン ケントナー
Martin Kenntrner 氏
Leitz GmbH&Co.KG (ドイツ)
窓の技術開発責任者

主催 平成26年度地球温暖化対策技術開発・実証研究事業

「超断熱サッシ開発による住宅の高断熱化検証とゼロ・エミッション住宅検証」

超断熱サッシ普及検討委員会

後援 長野県

参加申し込み方法は
裏面をご覧ください



